

2016年12月16日

株式会社 PRISM Pharma の株式譲渡について

株式会社産業革新機構(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:勝又幹英、以下「INCJ」)は、同社が保有する株式会社 PRISM Pharma(本社:神奈川県横浜市、代表取締役社長:小路弘行、以下「PRISM Pharma(プリズム ファーマ)」)の全株式について、DBJ キャピタル株式会社(本社:東京都千代田区、代表取締役:鹿島文行)が無限責任組合員である、DBJ キャピタル投資事業有限責任組合(事務所:東京都千代田区、以下「DBJ キャピタル」)に譲渡しましたのでお知らせ致します。

INCJ は 2013 年 5 月、独自のペプチド模倣技術を駆使し、難病を根治する新薬開発のために設立された「PRISM Pharma」に対し、同社の研究開発の促進を支援するために、他の投資者とともに成長資金としての投資を決定しました。

INCJ は投資実行後も、PRISM Pharma の社内管理体制整備や組織体制の拡充など、ハズオンの支援を行ってきたところ、同社への共同投資者である DBJ キャピタルから、INCJ に対し、株式の譲り受けの申し出があり、保有する全株式を DBJ キャピタルに譲渡しました。

参考)INCJ は、2013 年 5 月に「本邦初の画期的かつプラットフォーム性を有するペプチド模倣技術を用いた医薬品開発を目指す(株)PRISM Pharma への出資を決定」を公表しています。

URL: <http://www.incj.co.jp/PDF/1418021685.01.pdf>

株式会社 PRISM Pharma について

設立	2006 年 11 月
事業内容	細胞内タンパク質/タンパク質相互作用を制御する低分子化合物を用いた新規医薬品の研究開発
所在地	神奈川県横浜市
代表者	小路 弘行
URL	http://www.prismbiolab.com/

DBJ キャピタル投資事業有限責任組合について

組成時期	2010 年 10 月
組合の事業	投資事業
主たる事務所	東京都千代田区
無限責任組合員	DBJ キャピタル株式会社

DBJ キャピタル株式会社について

設立	2005 年 6 月
事業内容	投資ファンド
所在地	東京都千代田区
資本金	99 百万円
代表者	鹿島 文行
URL	https://www.dbj-cap.jp/

株式会社産業革新機構(INCJ)について

INCJ は、2009 年 7 月にオープンイノベーションの推進を通じた次世代産業の育成を目指して、法律に基づき設立された会社です。総額約 2 兆円の投資能力を有しており、革新性を有する事業に対し出資等を行うことで産業革新を支援することをミッションとしています。

INCJ は、投資・技術・経営等で多様な経験をもつ民間人材によって運営されており、法令に基づき、当社内に設置している産業革新委員会にて、政府の定める支援基準に従って投資の可否の判断を行い、日本の産業革新に資する投資を実施いたします。

<本発表資料のお問い合わせ先>

株式会社 産業革新機構 企画調整 Gr. 広報 入江、坂井 東京都千代田区丸の内 1-4-1 丸の内永楽ビルディング 2 1 階 電 話 : 03-5218-7202 URL : http://www.incj.co.jp/

[別紙]

1. 対象事業会社

株式会社 PRISM Pharma

- ・設立 : 2006年11月
- ・代表者 : 小路弘行
- ・所在地 : 神奈川県横浜市
- ・事業内容 : 細胞内タンパク質 / タンパク質相互作用を制御する低分子化合物を用いた新規医薬品の研究開発

2. 支援決定概要

- ・支援決定金額: 10億円(上限)
- ・実投資額: 10億円
- ・共同投資家: DBJキャピタル(株)、(株)コロボ産学官、大和企业投資(株)、ネオステラ・キャピタル(株)、(株)ジャフコ、エンゼルキャピタル(株)
- ・株式保有割合: 非公表
- ・支援決定公表日: 2013年5月
<https://www.incj.co.jp/news/assets/1418021685.01.pdf>
- ・投資ストラクチャー図:
<https://www.incj.co.jp/performance/upload/docs/1418087069.02.pdf>

3. 経緯

(1) 出資の経緯

PRISM Pharma は、細胞内で様々な信号を伝達するタンパク質 / タンパク質相互作用を制御できる低分子化合物の創薬技術を用いて独創的な新薬の開発を目指す創薬ベンチャー企業として 2006年11月に設立されました。同社は、細胞の増殖または線維化に作用する化合物 PRI-724 を中心に、複数の前臨床実験、治験を実施しています。

INCJ は、2013年5月、PRI-724 の非がん分野の疾患に対する新規治療薬の開発推進並びに米国での臨床実験を目指す PRISM Pharma に対し、10億円を上限とする出資を決定し実行しました。なお、PRISM Pharma は、同ラウンドで民間 VC からの出資をも含めて、総額 14.4 億円の調達を行いました。

(2) 事業の進捗

本件投資は、難治性疾患のアンメットメディカルニーズに対応するとともに、日本のバイオベンチャー業界におけるエコシステムの確立が期待されましたが、開発の主軸である PRI-724 について、有効性の証明のためには新たな治験を含むデータ取得が必要になり、開発戦略、開発体制を大幅

に見直すには、当初想定を上回る開発費用、開発時間を要することが判明しました。

(3) Exit の経緯・内容

そのような状況下、PRISM Pharma の事業継続について、関係会社の中で検討を進める中、同社のリードインベスターである DBJ キャピタルから、INCJ を含む株主に対し株式譲り受けの申し出があり、慎重に検討をした結果、2016 年 12 月、INCJ は保有する全株式を DBJ キャピタルに譲渡することになりました。

4. 主務大臣(経済産業大臣)の意見

創薬ベンチャー企業等への積極的な支援は、我が国の産業競争力の源泉である健康医療産業の強化のために重要性が増していく。創薬ベンチャー企業特有の事業課題を精緻に分析し、その反省に立って引き続き創薬ベンチャー企業等への支援を行うとともに、支援案件全体としての収益性の確保に努められたい。